

配置薬業界の現状と将来の問題を踏まえ 令和元年全国配置薬協会各ブロックの提案と要望

発行：日本置き薬協会 事務局

6月20日に全体会（ブロック会長会議）を開催する全国配置薬協会は、全国8ブロックに分かれて定例会を開催。各ブロックの提出議案は下記である。

北海道ブロック

「配置薬のPRの必要性」「配置薬の日」を制定して動き出した今、各県協議会でも「富山くすりフェア」を開くなど配薬のPRを積極的に進めることを願う。

関東ブロック

「講習会統一テキスト作成」資料作成費などを含む講師謝礼など講習にかかる費用削減のため、統一テキストの作成を要望。将来的には登録販売者による持ち回り講義も考える。

東海ブロック

「配置薬業界における研修の有り方」理由で研修を受けられなかった受講希望者の救済と全国どこでも受講して受講修了が認められるよう研修会の全国統一化を図る。

北信越ブロック

(1)「セルフメディケーション税制の適用範囲拡大と制度の恒久化」対象品目を拡大すること

で国民のセルフメディケーション意識が高まり、国の医療費削減にもつながる。

(2)「キャッシュレス決済方法の統一化」国のキャッシュレス決済推進もあり、配置業界でも対応

していかなくてはならない。全配協から同決済方法のモデルケース等を会員に周知してほしい。

近畿ブロック

(1)「配置薬製品の価格非表示による市場混乱の対応について」総額表示が義務化されると「製

品の価格非表示化」の傾向が進む可能性がある。そこで、配置薬メーカーに対し「希望売価格」を明確に提示してもらい、現場における値崩れなどによる混乱を未然に防止する。

(2)「会員自らが配置薬の知名度を上げる宣伝広告活動を」「配置薬の日」または配置薬をPR

するための「車載用マグネットステッカー」を作成し、全配協に所属する全会員の営業車に貼りつけて全国統一の宣伝活動をする。

(3)「献血グッズの作成」「配置薬の日」の制定に伴う全国統一活動の一つとして献血活動の

実施が考えられているが、その活動をPRの機会と捉え、特に若い人に受け入れられるグッズの作成を。

中国ブロック

「登録販売者外部研修や既存配置の資質向上研修の修了者名を全配協ホームページに掲載」

全配協ホームページに研修修了者名を掲載し、対外的に受講状況をアピールすることで各県協議会の研修運営をバックアップできると考える。各県独自の研修内容をアピールする場として活用。

四国ブロック

(1)「総額表示義務に伴う商品パッケージの定価表記について」総額表示義務化に対し、

メー

カー毎に対応が異なれば現場の混乱につながる。法令遵守の観点からも価格非表示が最適な対応だと考え、製薬部会に統一した対応を働きかける必要がある。

(2)「資質向上研修会の講師手配」 講師の負担軽減と講師料の削減のため、「手引き」に沿った

研修用パワーポイントの資料を作成し、各県へ配付してほしい。

九州ブロック

「製品パッケージの無定価表示」 今年10月に消費税率が8%から10%に引き上げられるが、そ

れ以降も随時引き上げられる可能性があるため、無定価表示にする方が製造側のコスト削減にもつながる。製薬部会に対し無定価表示の要望を。